



## 令和元年度 総会・全員研修会を開催 ～ここちよいと思えるかかわり♥愛♥～

去る5月29日、総会・全員研修会を開催しました。

総会後の全員研修会では、「児童虐待からみる子どもの人権」をテーマに滋賀県要保護児童対策スーパーバイザーの杉森正氏による講演で、児童の人権を著しく侵害する行為について児童の権利に関する条約《抜粋・要約》をもとに①生きる権利②育つ権利③守られる権利④参加する権利から、人として尊敬され、自分の意志で自分らしく生きる精神的人権は大人が考えていくべきことではと、問いかけを含めてお話し下さいました。

最も愛されるべき相手から虐待される子どもさんと虐待する親御さんへの支援は、カウンセリングマインド（人が関わろうとする態度、考え方）で接することが大切です。心のど真ん中に傷があるので周りのものの愛、心地よい気持ちになれるような関わりを持つ、「愛ってこんなものよ」と伝えていただくことが支援となりトラウマが薄まりますと話され、民生委員児童委員としての心構えを学ぶ研修となりました。  
(大谷加代子 記)



## 令和元年度 守山市民児協県外研修

6月27日（木）朝、守山を出発する時から雨模様の中、守山市民生委員児童委員協議会では、総勢119名が三重県松阪市の社会福祉法人ベテスタを訪れ研修を行いました。

人数が多いためバスの号車ごとに3班に分かれて、研修をさせて頂きました。

まず、知的障がい者の特性と課題について、DVDの視聴からスタートする班、「こいしろの里」障がい者入所・短期・通所・放課後デイサービス等の施設見学からスタートする班、障がい者就労支援施設「ぱんカンパン」で作られる災害備蓄用缶入りパンのパン工場見学の班とに分れ、ローテーションで見学研修を行い、最後に

全員がホールに集まって、施設長さんから施設運営についてお話を聞く機会を得ました。特に人権に関することや行政に関することなどに触れた熱い思いを語ってくださいました。

ベテスタは、知的障がい者の就労支援・生活支援・相談支援等を総合的に行い、親なき後を考え自立に向けて支援することを掲げた福祉法人で、利用者に寄り添った温もりの感じられる施設の一つであり有意義な研修となりました。  
(大崎 滋子 記)



## 民生委員・児童委員活動紹介

守山市民生委員児童委員協議会では、全委員158名が次の4部会に分かれ、委員の資質向上を図っています。また、各学区に2名（守山学区のみ3名）いる主任児童委員は、主任児童委員会を組織し、定例活動を行っています。

今年11月末日で3年任期が満了となるため、これまでの部会等の活動を通じてつかんだ課題等を取りまとめ、守山市長に意見具申を行ないます。



### 第一部会 自立支援福祉部会

生活困窮者自立支援制度が平成27年4月施行されました。

第一部会自立支援福祉部会において「支援する側と支援される側」など多様で複合的な課題に取り組み、関係機関との支援など具体化していくには固定的なものとしないで見守り、間接的な地域福祉の施策についてつとめています。

民生委員・児童委員に対し生活困窮者自立支援制度の内容について周知を図りつつ、早期発見・把握に協力できる範囲内に取り組めるよう学習いたしました。

（中野 安子 記）



### 第二部会 高齢者福祉部会

私たち「高齢者福祉部会」は部会員で3年間研修をしてきました。

介護施設の見学や、職員さんとの話し合い、デイサービスでのボランティア活動、介護保険、新総合事業、そして民生委員の大切な活動である友愛訪問に必要な高齢者支援制度の話を聴くなど研修を受け、多くの学びがありました。

これまでに受けた研修を地域で活かし、支援・援助ができる、相談相手となり、社会福祉の増進につとめたいと思います。

（小西 由美子 記）



## 第三部会 障害児・者福祉部会

特に施設を訪問した研修や障がいのある方とのふれあいは、心に残る体験で、新しい発見がありました。「やまなみ工房」では、一人ひとりの個性を生かすために寄り添う支援をされていました。

「京都ライトハウス」で視覚障がいの方に施設を案内していただき、「ボッチャ体験」は、車椅子の方に教えていただきました。

お互い相手を尊重して、安心して共に暮らせるような地域づくりに取り組んでいきたいと思います。

(西井 泉 記)



## 第四部会 児童・家庭福祉部会

家庭・児童を取り巻く社会環境の中で取り残されていく子どもたち（貧困・不登校・引きこもり・障がい児など）を様々な角度からとらえるための研修を深めてきました。

野洲養護学校、信楽学園、鹿深の家などに出かけ、学校・施設見学、在籍する児童数や卒業後の進路などを聞かせてもらいました。

また、発達障害、守山市の児童福祉の現状、特別支援学級の現状・課題と支援など、専門の先生からの講演も聴かせてもらいました。

(太田 冬樹 記)



## 主任児童委員会

主任児童委員会には、所有しているハンドベルがあります。大型児童館「ほほえみセンター」への支援で、手遊びやパネルシアターはもちろんのこと このハンドベルを使って演奏もします。季節や行事に沿った曲を選び、歌詞やメロディーに合わせてペープサートをすることもあります。楽譜や譜面台も準備し、例会の後やサロンが始まる前等時間を見つけてみんなで練習し、親子と楽しく交流できるよう奮闘しています。

(小林 珠美 記)



## 湖南4市単位民児協会長等交流会を開催する

7月29日(月)、恒例の標記交流会を守山市コミュニティ防災センターで開催しました。参加者50名(4市の単位民児協会長と当番市の守山は副会長と主任児童委員代表も含む)は、同志社大学の空閑浩人氏による講演「多様化する暮らしの課題と期待される民児委員活動」を聴講したのち、フリートーキング方式のグループ別懇談に移り、その後、防災ブレスレットの作成という貴重な体験しました。

グループ別懇談では、講演を踏まえ、秋の民児委員の任期改選に伴う課題や、今後の民児協および委員活動のあり方などについて、忌憚のない情報交換と意見を熱心に交わすなど、実り多い令和初の交流会となりました。

(渕上 清二 記)



## 南部地区地域包括支援センター開所しました！

平成31年4月1日、守山市で圏域型2か所目となる守山市南部地区地域包括支援センターが開設し、令和元年5月16日にエルセセンター敷地内に新事務所が開所しました。

南部地区地域包括支援センターは、守山、小津学区を担当する圏域センターです。

地域包括支援センターとは、高齢者の暮らしを地域でサポートするために設置されている地域の高齢者の総合的な相談窓口です。介護だけでなく福祉、健康、医療など様々な分野から総合的に高齢者とその家族を支えるための地域の窓口となっています。お気軽にお立ち寄りください。

場所 守山市勝部3丁目9番1号（エルセルセンター敷地内）

TEL 077-585-9201



### お詫びと訂正

前号(平成31年3月発行)1頁「民生委員・児童委員全員研修会」記事内、河西NT自治会実施のデイサービス事業の運営費の内訳に誤りがありました。関係者の皆様にお詫びするとともに、次のとおり訂正いたします。

**「運営費は、当事者とボランティアの会費のほか、自治会からの助成金で賄っておられます」**

令和という新しい時代を迎えて、民児委員・児童委員としてその気概を改めて思うところです。尚、本年度は民児委員・児童委員の一斉改選の年でもあります。12月1日をもって再任される方はもちろん、今期をもって退任される方も、残りの任期いっぱいまで活動を全うする覚悟です。

ところで、昨今の社会状況に目を向けると心痛める事がたくさん見受けられます。幼児虐待を始め、いじめ問題、ひきこもり問題、なかでも高齢者を取り巻く環境は、大変厳しいものがある様に考えます。そのような中で、我々の活動が少しでも一助になるなら幸いに思います。

(西出 久夫 記)

編集  
後記